

令和5年度神奈川県立鶴見支援学校

第1回学校運営協議会開催結果

開催日時	令和5年6月14日(水)
開催会場	鶴見支援学校
参加者	7名(欠席3名)
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回学校運営協議会開催要項 ○令和5年度学校評価(目標設定) ○学校案内 ○パワーポイント資料(各グループ、学部の重点取組内容含む) ○学校運営協議会運営計画書 ○学校運営協議会委員名簿 ○鶴見支援学校のキャリア教育 ○神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則 ○神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱 <p style="text-align: right;">} 郵送済みの資料。確認のため再度配付</p>
委員からの意見等概要	<ul style="list-style-type: none"> ○校長挨拶と委嘱状の交付 <ul style="list-style-type: none"> ・この4月養護学校から支援学校となった。これまでの良い伝統を受け継いでいきたい。学校を支援していただく組織は貴重に思っている。 ○参加者自己紹介 ○会長、副会長選出 <p><学校評価部会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の組織について ・キャリアパスポートの活用について <p>校内で決まった様式はなく、各学部で工夫している。小学部では写真を使い、本人が振り返って頑張ったことを実感できるようなタイプにしている。キャリアパスポートは引継ぎ的な要素もあるが、小学部では、本人が1年間頑張ること頑張ったことがわかるようにしている。分教室はマンダラートを教員の支援のもと考え作成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県障害者雇用では、就労率は30パーセントと下がってきている。東京都とは10パーセントの差があり、雇用部会でもこの差について議論している。鶴見支援の分教室の就労が高く、鶴見は成果あげてきているので、目標の取り組みは方向性として正しいのでは。 ・進路学習教材の開発について、4年間の目標の中の「自立と社会の参加を目指して～」は支援学校の基本ではないか。個人での挨拶について、家庭との連携も含めて、開発教材を考えていくのがよいのではないか。特例子会社を含めて、仕事については、マニュアル化できていて、採用してから教えていくというのが企業側ではできている。挨拶、返事、身だしなみができることを重視し、就労につなげていくのがキーポイントとなる。企業が求める人材など、こういったことを家庭で行っていくと良いのか、教員や保護者対象に、セミナーをやっていただけたら。 ・学校だけではなく、社会資源の活用、事業所の方と話し合いながら、指導、支援の仕方を教えていただき子供たちの支援につながれたら。

- ・キャリアパスポート、マダラートよく書けている。
- ・先の見えない世の中、先を見据え何のために今を生きるか。当面の目標はあるが、先の目標もあって良いと考えている。
- ・地域との共同、交流については、分教室の生徒が来て小学部と自分たちが作ったもので遊んであげる等、今までできていなかった分、教員からニーズがでてくると良い。交流に関して広報交流チームでアイデア募っている。地域とこういうことやりたい、こちらが地域に出て行くなど校内でのアイデアを募っている。
- ・身につけたい力を明確化し、共有していくことは大切。学習指導要領改訂により教科書で教える、教科書で力をつけるという方向になった。力を明確化する。そのためにどういうことができるか。将来どう役に立つのか。以前別の学校であるが、ポートフォリオを作ったことがある。1年生から3年生までクラス替えのない学校。今できていること、将来やりたいことを年度ごとに書いてもらい、卒業の時に表紙をつけて生徒一人ひとりに渡した。
- ・タウンニュースは地域へ伝える手段としてはとても良い。今はネットでタウンニュースが見られる。それを見ている人も多い。
- ・卒業後の選択肢がたくさんあって、不安がぬぐえるようだとい。
- ・子どもたちの目標を見て、学校と家庭との連携が大切と思った。
- ・障害がある人で、良いことと悪いことの区別が難しい人は犯罪をしてしまうことがある。個人の特性で難しいと思うが、被害にあうこともあるので、制服のおまわりさんが全体や個別に話すことも可能なので利用してほしい。鶴見警察ではツイッターをする等、情報発信している。
- ・安全について、地域防災訓練に参加していくということや、緊急対応マニュアルの整備について、グループ内だけでなく、グループ間で共有ができていることがよい。
- ・特総研や神奈川県教材ライブラリー活用。教員間で使うことはもちろん、地域の個別支援級へ発信して行ってほしい。
- ・社会資源、地域の活用、ケアプラザや町内会と交流を深められるとよい。
- ・学校目標は4年間最後の年度になり、4年間の目標達成の年となる。

<令和5年度不祥事ゼロプログラム（報告）>

- ・子どもたちの人権を守っていくという考え根底に、教職員同士も風通しの良い職場となるようにして不祥事を出さないようにしていきたい。

<本日のまとめ>

- ・今日の意見をまとめ、生の声を職員に伝えていきたい。先生方の力になっていくので。職員と共有し進めていきたい。

<事務連絡>

- ・次回は10月を予定している。近くなったらご連絡差し上げる。